



スポーツ庁

資料8

次世代ヘルスケア産業協議会 第22回健康投資WG 説明資料

令和元年12月19日
スポーツ庁

職域におけるワークスタイルに根ざした運動習慣の構築

- 通勤時間や休憩時間等を活用して「歩く」ことを促進する「FUN+WALK PROJECT」を推進
- 社員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」として認定。
- 誰もが生涯を通じて楽しめる「新たなスポーツ」の開発・普及」に取り組む。

【FUN+WALK PROJECT】



- 普段の生活から気軽に取り入れることのできる「歩く」に着目し、「歩く」に「楽しい」を組み合わせることで、自然と「歩く」習慣が身につくようなプロジェクト。
- 2017年度よりビジネスパーソン向けのシンボリックな活動として、「仕事」と「ファッション」を包含する「歩きやすい服装」(FUN+WALK STYLE)での通勤を推進。通勤時間や休憩時間、昼休み等の隙間時間を活用したスポーツのきっかけづくりを促進。
- 10月を「FUN+WALK月間」とし、「歩く」機運醸成を図る強化期間として設定。2019年度は東京都内で“楽しく歩いて通勤する朝習慣”をテーマに「FUN+WALK MORNING」キャンペーンを展開、「朝食」と「歩く」を掛け合わせたイベントも実施。3日間で述べ3,000人が参加した。

■ FUN+WALK MORNING キャンペーンPRイベント (10月15日)



鈴木長官からの取組概要説明やFUN+WALKアンバサダーのEXILE USAさん、TETSUYAさん、スペシャルゲストの高橋みなみさんによる「朝習慣」や「歩く」ことをテーマとしたトークセッションなどを実施。

■ FUN+WALK MORNING スペシャルデー (10月15日～17日)



朝の通勤時間帯にひと駅「歩く」イベントを開催。ドリンクやフルーツ、ウォーキング後の朝食等を配布し、「食べて歩く」朝習慣をPRした。

【スポーツエールカンパニー】

- 「働き盛り世代」のスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的として、2017年度に、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」(英語名称: Sports Yell Company)として認定する制度を創設。
- 2017年度217社、2018年度347社を認定。今年度は12月中旬発表予定。
- 主な認定要件
 - (1)特定の従業員にとどまらず、企業、事業所等全体で推進している取組であること
 - (2)経営者の理解を得て、企業、事業所等内部の取組が明確化されていること
 - (3)取組が企業、事業所等内部において周知されており、取組実績があること
 - (4)実施内容、導入手順、運用方法等の公表が可能であること等



認定証



認定ロゴマーク

【新たなスポーツの開発・普及】

- 2017年度は伝統的な競技種目以外にも「スポーツ」の概念を広げるとともに、「スポーツ」に対する心理的ハードルを下げる観点から、官民連携により「新たなスポーツ」の開発(アイデアコンテスト、ハッカソン、体験会等)を行った。
- 2018年度は新たなスポーツやスポーツ共創(皆と一緒にスポーツを創ること)が国民に認知され、自律的に広がっていくための基盤づくりとして、普及に向けたシステムの構築、プロモーションの推進、スポーツ共創の実践手法の普及に取り組んだ
- 2019年度は「新たなスポーツのプロモーションの推進」と「スポーツクリエイションの手法の展開」に取り組み、スポーツ共創の手法・取組事例をシェアする仕組みづくりとスポーツ共創人材の育成と実践を行った。

<スポーツ共創ワークショップ in 遊学塾(8/3)>

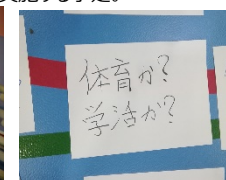
参加者の教員が参加し、各自の学校現場の授業等に実施する予定。



チームごとにスポーツづくり



ipodを挿入して使用するビニールボール



「スポーツ共創」に関する問いを書き出す



48名の参加

Sport in Lifeプロジェクト

公認プログラム



スポーツを行うことが生活習慣の一部となる、そのような姿を目指し、一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会の実現のため、「Sport in Life プロジェクト」をスタート。

- 本プロジェクトのシンボルとして、「Sport in Life」のロゴマークを作成し、共にスポーツを推進していただける地方公共団体、スポーツ団体、経済団体、企業等に付与。このロゴマークのもとで積極的な取組をオールジャパンで促進。
- スポーツ実施率65%程度の達成（新たに約**1,000万人のスポーツ人口を拡大**）に向けて、スポーツ庁は本プロジェクトの理念や取組の普及拡大を図り、スポーツに親しむ気運と関係機関・団体・企業等における連帯感、一体感を作り出す。
- さらに、参画団体等の連携した取組が促進されることを目的とした共同体（コンソーシアム）を創設する予定。参画団体等の連携した取組で、スポーツ実施に向けた大きな推進力、相乗効果が生まれることを期待。

本プロジェクトでは、一緒にスポーツを推進してくれる皆様に「スポーツ推進宣言」をしてもらい、スポーツ庁のプロジェクトメンバーになっていただきます。



メンバーの皆様には、ロゴマークを活用していただき、共にスポーツに親しむ機運と連帯感を創出していきたく考えています。皆様の参加を心からお待ちしております！

「Sport in Life」のロゴ付与について

スポーツ庁

スポーツ推進の
宣言・申請

「Sport in Life」
ロゴマーク付与

- 経済団体・企業
- 地方公共団体
- スポーツ団体等

宣言に応じた取組の実施

<「Sport in Life」ロゴマーク>



コンソーシアム

2020レガシー
スポーツ参画人口の拡大の創出

スポーツを通じた
健康で活力ある社会の実現